

# JIS 原案概要

意見・異議等の受付期間は、2023 年 9 月 29 日～2023 年 11 月 30 日です。

制定/ 改正	JIS 規格番号	JIS 原案の名称	JIS 原案の適用範囲，規定項目又は 改正点	制定・改正の必要性	対応する国際規格番号 及び名称
改正	<b>JIS B 1536-3</b>	転がり軸受－針状ころ軸受の 主要寸法及び公差－第 3 部：ラ ジアル保持器付き針状ころ	<p>【適用範囲】</p> <p>この規格は、ラジアル保持器付き針状ころの主要寸法及び公差について規定する。</p> <p>【主な改正点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表 1 として、呼び寸法、特性及び指定条件記号の表を追記する。</li> <li>・ラジアル保持器付き針状ころを示す図 1 を、GPS を適用した表記に変更する。</li> <li>・ラジアル保持器付き針状ころの軸及びハウジングについて、一般的な推奨事項を附属書 A に追記する。</li> <li>・機能ゲージを用いたラジアル保持器付き針状ころの測定方法を、附属書 B に追記する。</li> </ul>	<p>この規格は、軸受及び軸受部品の寸法、構造及び品質に関する標準化であり、これらは、工業品の生産、設計、製図、使用等に必要となるものである。この規格を産業標準化することによって、次のように産業の発展に寄与するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軸受の生産性の向上、品質の改善、産業界の発展に寄与する。</li> <li>・軸受を使用する上での合理化に寄与する。</li> <li>・軸受の生産者と使用者との相互理解の促進、互換性の確保に寄与する。</li> <li>・技術の普及発達又は国際産業競争力強化に寄与する。</li> <li>・国際貿易の円滑化又は国際協力の促進に寄与する。</li> <li>・軸受を生産する中小企業の振興に寄与する。</li> <li>・対応国際規格と整合させる。</li> </ul>	<b>ISO 3030:2022</b> Rolling bearings — Radial needle roller and cage assemblies — Boundary dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values
改正	<b>JIS B 1536-4</b>	転がり軸受－針状ころ軸受の 主要寸法及び公差－第 4 部：ス ラスト保持器付き針状ころ及 びスラストワッシャ	<p>【適用範囲】</p> <p>この規格は、スラスト保持器付き針状ころ及びスラストワッシャの主要寸法及び公差について規定する。</p> <p>【主な改正点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・表 1 として、呼び寸法、特性及び指定条件記号の表を追記する。</li> <li>・スラスト保持器付き針状ころ及び</li> </ul>	<p>この規格は、軸受及び軸受部品の寸法、構造及び品質に関する標準化であり、これらは、工業品の生産、設計、製図、使用等に必要となるものである。この規格を産業標準化することによって、次のように産業の発展に寄与するものとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・軸受の生産性の向上、品質の改善、産業界の発展に寄与する。</li> <li>・軸受を使用する上での合理化に寄与する。</li> <li>・軸受の生産者と使用者との相互理解の促進、互</li> </ul>	<b>ISO 3031:2021</b> Rolling bearings — Thrust needle roller and cage assemblies, thrust washers — Boundary dimensions, geometrical product specifications (GPS) and tolerance values

制定/ 改正	JIS 規格番号	JIS 原案の名称	JIS 原案の適用範囲，規定項目又は 改正点	制定・改正の必要性	対応する国際規格番号 及び名称
			<p>スラストワッシャを示す図を， GPS を適用した表記に変更する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>スラスト保持器付き針状ころ及びスラストワッシャ使用時に推奨される一般的な特性を，附属書 A に追記する。</li> <li>機能ゲージを用いたスラスト保持器付き針状ころ及びスラストワッシャの測定方法を，附属書 B に追記する。</li> </ul>	<p>換性の確保に寄与する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>技術の普及発達又は国際産業競争力強化に寄与する。</li> <li>国際貿易の円滑化又は国際協力の促進に寄与する。</li> <li>軸受を生産する中小企業の振興に寄与する。</li> <li>対応国際規格と整合させる。</li> </ul>	